

加えてひとつ。

ロリ婚。これは「男性が年上且つ20才以上違う様な結婚」

去る 5月12日(土)の日経新聞夕刊の小さなコラムで紹介されていますが、名付け親は何をかくそう、何もかくしません、この私です。毎週土曜の日経夕刊では、最近の洒落たニューワードを紹介していますが、たまたま私の洒落が出てしまいました。またまたということはあるかないか、何ともいえませんが、皆様も何か思いつきましたら、お寄せ下さい。新後見人の杉本氏にキュウ婚とは「会ってすぐなら急婚、暫く間を置く場合は休婚です」と言いますと、氏は「私の場合は救婚ですなあ」と笑って答えられました。

皆様の実感と願望に基づく〇〇婚を待っています。

さて、今月は以前皆様からお寄せ頂いたもので未笑介の作品の一挙大公開です。アットランダムに出来る限り沢山笑介します。ああ、しょうかい。

●新宿区/近藤正雄

気のおけぬ同業のつどい外房線の車中ビール、日本酒、賑やかに
窓際に置いてあったピーナツばらばらと座席に、とたんに声あり 落花狼藉

●藤井寺市/吉森賢二(76才)

阿呆と煙は高いとこすきやねん

「私は山登りを続けており途中一休み、時々口すさみ、又頂上へ」

●京都市伏見区/牟禮丈夫

新春洒落都々逸 度量は広島 沖縄(大きな)人よ ものも岩手で 愛知てね

1989 京の岡山(奥山) 静岡(静かな) 栃木(土地に)

府県名織り込み 嫁いで秋田(飽きた) 和歌山(若いマ)マ

頭、大分 千葉(血ば)しるマナコ

香川(かかあ)に岐阜(ギブ)アッパ 京都(教頭)さん

新春回文1988 良いネクタイは痛くネイヨ

駄目、あたし頭(アタマ)痛(イタ)い。またあした雨だ。

●つくば市/加藤栄一

京都の南禅寺は境内の湯豆腐店が有名。しかし、このごろはいろいろ凝った料理を出すので、「豆腐というても高うおませ。ナンゼン円もします」と京雀はいつている。

水戸の本社へ車で研修に集まったOLたち。研修がすんで「テニスでも」という話になると、すぐテニス・ウェアを出して来たので、指導員、驚く。OL「車にいつもいろいろ積んであるの。誘われればホイホイよ」指導員「そんなに遊んでばかりいて、結婚できるの?」「ハイ。ウェディングドレスも積んであります」

加藤氏は仕事の傍ら、小話をサラッと書いては『筑波の友』という雑誌に寄稿中です。
あとふたつほど笑介しましょう。

学者「あそこの喫茶店は、静かでいい音楽を聴かせていたし、カップや椅子も上等で。
しかもいつ行っても人はいなくて、好きなだけゆっくりできた。あんなすばらしい喫茶店
はなかったのに、どうしてなくなったのだろう」

つくばの夜をすごい音を立てて走りまわる連中あり。「千葉県からも来ているらしいよ」
「へーえ」「それ、ボウソウ族」

●横浜市旭区／荻野誠人

中学生漢字テスト怪答集

〔書き取り〕私服を肥やす（着ぶくれの季節ですなァ）／幸福を勧告する（余計なお世話だ）／蚕の声帯を観察する（ンなもん蚕にあるか！）／瀕死の識別（お疲れさまです）

〔読み取り〕塗布—とうふ（かどに頭をぶつけろ！）／肉の塊—たましい（新興宗教ですか？）／仲介—なこうど（お前らにゃまだ早い？／身辺—しんペン（ン？）／塗り葉—めり葉（小学校からやり治し！）

ソ連小話 グラスノチ（情報公開）

先生—ゴルバチョフ時代になって何が変わりましたか。はい、コーリャ。

生徒—えー、前は、ソ連はとてもひどい国だと思っていました。

先生—うん、うん、それで？

生徒—今は、世界中からそう思われてることが分かりました。

●高石市／芝原健夫（大阪シルバー駄洒落教室の名物先生であります）

1. 歯を抜くとき、痛み止めに麻酔の注射をします。その注射が一番痛いことがあります。これがほんとの「チュウシャ違反」ですね。

2. 歯を抜いたあとが治るのは、体の自然治癒力によります。西洋には「神が治し医者がお金をもらう」ということわざがあります。これがホントの「イシャ料」ですね。

●町田市／石川静恵

ご主人との会話だそうです。チョイ前の俵万智ちゃんブームの頃のこととか。

「俵万智って知ってる？」と聞いたら

「知ってるサ、浅草の一つ手前だろ」（注、地下鉄銀座線、田原町のこと）

先月の伝笑鳩で皆様の原稿が少ないと申しましたが、実はその通りでして、もう底をつきそうです。宜しくお願ひします。

という所で、困った時の山下塾鳥頼みは、再び『サモアールわかして』からです。

今月はパリから、ぱりっと。

ミシュラン

パリを見知らぬ人のためにつくられた案内書が、ミシュラン。

ノミの市

ヒル、はノミの市、ヨル、は飲み市の

では、山下塾鳥が好きだったワインでも飲みますか、ワインも。（文責：野本浩一）